

Hokkaido

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053490

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



1. 北海道 追補

高橋英樹 (〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学総合博物館
hide@museum.hokudai.ac.jp)

(A) 植物誌

北海道産維管束植物の学名を整理した伊藤浩司ら『北海道高等植物目録I-IV』(たくぎん総研 1987-1994)以降では、合田勇太郎『北海道植物誌-北海道植物分布記録保存集』(中西出版 2004)が出されている。著者は元高校の理科教員で、北大総合博物館の標本や上述の目録等を参考にまとめ、園芸種も含めた3,700以上の植物名がリストされている。著者による批判的な植物標本の検討が不十分で学名のシノニムリストもないが、北大総合博物館植物標本庫所蔵の支庁毎の標本点数の概略が理解できる。

地域の植物誌・植物リストとしては、札幌市博物館活動センター『藻岩原始林・円山原始林の植物リスト及び収集資料目録』(札幌市観光文化局文化部 2005)、林廣志『遠軽町の植物ガイドブック』(林 2012)、『平成21年度知床世界自然遺産地域生態系モニタリング調査業務報告書 5. 知床半島産維管束植物標本データベース』(知床財団 2010)などがある。

北海道産自生種すべてが掲載されているわけではないが、一般市民向けのカラー写真集として梅沢俊『新北海道の花』(北海道大学出版会 2007)、梅沢俊『新版北海道の高山植物』(北海道新聞社 2009)があり、著者独自の観察メモが記され専門家の間でも定評がある。樹木では佐藤孝夫『新版北海道樹木図鑑』(亜璃西社 2002)がある。

その他、北海道の地域ごとの植物リストや新分布記録などの報告は、『利尻研究』、『知床博物館研究報告』、『北方山草』など地域博物館や植物愛好会の出版物で見られる。特に『北方山草』は20号(2003)で「特集：最近20年間の北海道植物研究」を組んで以降、フロラに関する有用な報文が数多く掲載されている。

(B) 研究機関

北海道大学総合博物館、同大学北方生物圏フィールド科学センター植物園にハーバリウムや植物分類学関係の研究者がいる。同様に札幌市博物館活動センター、釧路市立博物館、斜里町立知床博物館などにハーバリウム、植物分類・生態学研究者がいる。

(C) 標本

北海道大学総合博物館植物標本庫(SAPS)に約25万点の標本があり研究用に閲覧可能である。中核となる宮部金吾・工藤祐舜・館脇操の旧農学部標本に加えて、旧理学部所蔵の秋山茂雄スゲ属標

本、早田文蔵採集標本(「故早田教授遺品」)が加わり、さらに最近収集されたサハリン・千島産標本等も配架されている。総合博物館では陸上植物標本庫(SAPS)以外にも、菌類標本庫(SAPA)と藻類標本庫(SAP)も研究利用が可能であり、これら3標本庫全体で50万点以上の植物標本が保管されている。北方生物圏フィールド科学センター植物園には新しい収蔵庫が整備され、湿原産の植物標本やミズゴケ標本が充実しており、菅原繁蔵の戦前樺太産標本1セットが保管されている。小樽市博物館から植物標本目録(井上藤二コレクション)(小樽市博物館 2003)が出されており、札幌市博物館活動センターには主に札幌市の植物標本がある。

北大総合博物館所蔵の植物(海藻、陸上植物)の主要タイプ標本画像が、『北大自然史タイプコレクション』(北大総合博物館 2004)に、サハリン・千島産の陸上植物タイプ標本画像の一部が『サハリン・千島植物標本データベース-タイプ標本集1-』(北大総合博物館 2004)に、歴史的な地衣類標本画像が『クラーク博士と札幌の植物』(北大総合博物館 2012)に掲載されている。標本ラベルデータとしては、『原松次植物標本コレクション目録』(北大総合博物館 2008)、『秋山茂雄『極東産スゲ属植物』図版標本目録』(北大総合博物館 2009)が出版されている。日本の固有種の標本データは国立科学博物館に提供され、『日本の固有植物』(東海大学出版会 2011)で採用されている。

(D) レッドデータブック・外来種

『北海道の稀少野生生物北海道レッドデータブック2001』以降、改訂版は出ていない。北海道の指定植物のモニタリング調査を道総研の環境科学研究センターが毎年継続的に行っている。

外来種については五十嵐博『北海道帰化植物便覧』(北海道野生植物研究所 2001)の改定版が準備されているという。最近になって『北海道の外来種リスト-北海道ブルーリスト2010-』(北海道 2010)が公表され、北海道のHPでも公開されている。

(E) 植物群落

北海道の高山植生を網羅した佐藤謙『北海道高山植生誌』(北海道大学出版会 2007)が出版され、各山岳での植生表(総合常在度表)がリストされ有用な資料となっている。湿原植生については一般向けだが、辻井達一・橋比サ子『北海道の湿原と植物』(北大出版会 2009)に各湿原植生の解説がある。